

いつも当社システムをご利用いただきありがとうございます。
今月分の請求書をご査収の程よろしくお願い申し上げます。

株式会社ユニコーン
大阪市中央区大手通 1-1-2
TEL.06-6943-4560 FAX.06-6920-5311

いつも大変お世話になりありがとうございます。

このたびの能登半島地震により、被災された皆さま、そのご家族様、ご関係の方々に心よりお見舞い申し上げます。被災地の一日も早い復旧と、安全安心の日常を取り戻すことができますようにお祈り申し上げます。

2024年は甲辰（きのえたつ）の年、「春の日差しが、あまねく成長を助く」「成功という芽が成長していき、姿を整えていく」といった意味があるそうです。

龍は十二支のなかで唯一の架空の動物で、「龍神」を祀る神社は全国に多数あり、空を飛んで雲を起し雨を呼ぶところから、水にまつわる神社が多い印象です。龍の口から水が出る手水舎はあちこちのお寺や神社でも見かけますし、私たちにとっては馴染み深く、縁起の良い動物です。

「龍」の英訳が「ドラゴン」だと漠然と思っていましたが、外見的には、翼や牙やひげ等の特徴が異なるそうです。また、龍が神聖な存在であるのに対して、ドラゴンは悪とされています。近頃マイブームの「異世界転生系アニメ」などでは大抵、ドラゴンは悪の権化で、巨大な体と力を持ち、空を飛び、口から火を噴き、その上に高い知性を兼ね備えた最強の生物で、人間などはドラゴンの咆哮で大きなダメージを負ってしまうほど恐ろしい存在であるという風に描かれています。

ドラゴンが悪の象徴になった理由としては、キリスト教の影響が大きく、聖書にサタンの象徴としてドラゴンが書かれていることから、邪悪な存在として描かれることが多くなったそうです。しかし、さらにギリシャ神話までさかのぼると、現代とは見た目も異なるようですが、「ドラコーン」と呼ばれ、知識、自然界の力、そして知恵の象徴として描かれているそうです。アメリカの神話学者ジョゼフ・キャンベルは、ドラゴンを神性や超越性の象徴と見なし、蛇の形（地上にいる）と鳥の形（空を飛ぶ）を組み合わせることで、天と地の結びつきを表現していると述べています。天と地の結びつきという風に考えると、雲を起こして地上に雨をふらせる龍と、根源は同じ物なのかもしれません。

我々小さき人類は、時には豊穡を与え、時には厄災をもたらすコントロール不可能な大自然の驚異を、龍やドラゴンのような大きな存在にたとえ、神として崇め奉ったり、悪魔として恐れたりしてきたのかもしれません。

そんな脆弱な人類ですが、どんなときでも手を取り励まし合い、助け合える知性を持っています。2024年、大変なスタートになりました。現地に伺ってお手伝いや支援は難しくとも、今ここで出来ること・・・まずは身近な関係性の中で、これまで以上に協力しあってやっていきたいと思えます。

バタフライ効果のように、小さな変化がどこまでも伝搬し、何処かで誰かの助けになってゆきますように。

本年もシステムを通じて、皆さまに、そして私達自身にも、喜びをもたらせるよう邁進してまいります。引き続きどうぞよろしくお願いいたします。



讃岐國一宮 田村神社



ご神歌 「龍体で示現なすとの伝えある 田村の神は水の大神」



奥殿の床下には「定水井」と呼ばれる深淵があり、決して覗いてはいけない「底なしの深淵」とも伝えられ、龍はそこに住んでいるといわれています。



今月も最後まで読んで頂きまして、ありがとうございました。来月もよろしくお願いいたします。